



佐高 SGH通信 2018

中1 SGH リレー講座

足尾での校外学習

附属中学校1年生は、総合的な学習の時間に未来探求プログラムの一環として、地域の偉人である「田中正造」についての学習をしています。佐野市郷土博物館の田中友成先生を講師としてお迎えし、田中正造についての講話を聞いたり、コンピュータ等を活用して調べ学習を行ったりして、田中正造や足尾についての知識を深めました。

そして、7月5日(木)、あまり天気の良いなかでしたが、足尾で校外学習を行いました。まず、植樹体験を行いました。植樹を行う前に、国土交通省の職員の方から、当時の鉱毒被害について詳しいお話をお聞きしました。その後、山の斜面に移動し、みんなで力を合わせて10本の樹を植えました。そのあとに旧松木村の見学、足尾環境学習センターでの学習を行い、足尾銅山の歴史や鉱毒問題、田中正造についての理解をさらに深めました。

今回の足尾での校外学習を通して、足尾鉱毒問題を実感するとともに、その解決を目指していた田中正造の精神が今も引き継がれていることを知りました。私たちが目標とする「**田中正造型**」グローバルリーダーに、一歩近づくことができたと感じました。



<生徒の感想>

湯沢 想太くん(中1-1)

自分が思っていたよりも、とても楽しかった。一番楽しかったのは、植樹で緑を増やせたことです。やりがいを感じました。また、学習センターでも、環境や砂防のことなどをよく理解することができた。また、足尾に行って、植樹以外のこともしてみたいと思った。

坂田 公希くん(中1-2)

植樹では、1本植えるのにこんなにも大変なんだと思った。学習センターでは足尾に加えて、田中正造のこともたくさん学べた。資料もたくさん見ることができ、ネットでは分からないようなことも知ることができた。自分でもできる小さなことをやっていきたいと思った。

大島 侑也くん(中1-3)

今回、足尾植樹体験を行ったことは、自分にとってとても良い経験になった。僕たちが植えた木が少しでも防災に役立てられれば良いと思った。また、足尾環境学習センターでは、鉱毒事件に関する展示や足尾銅山の歴史を紹介するビデオを見るなど、たくさんのことについてしっかり学ぶことができた。

新井 望さん(中1-1)

初めての植樹は、思っていたより疲れました。改めて、自然の大切さや、山から木をなくすのは簡単でも、元に戻すのは大変だということも分かりました。これからは、もっと自然を大切にしようと思いました。

阿久津 怜さん(中1-2)

今回は、とても貴重な体験をすることができました。仲間と力を合わせて植樹をしました。一本の木を植えるだけでも1時間ぐらいかかり、思ったより大変でした。自然を破壊することは簡単だけれど、それを元に戻すのはかなりの時間がかかるのだということを感じました。

針谷 采芽さん(中1-3)

今回の活動でわかったことは、自然災害から人々や動物たちを守るためにも、植樹は行っているということです。山には鹿がいて、学習センターにはキツネがいました。私は、キツネを初めて見ました。動物たちの命を守るために活動できたなと感じ、うれしくなりました。